



# 特定非営利活動法人 女性技術士の会

## ニュースレターvol.6

本ニュースレターは、特定非営利活動法人女性技術士の会会員のみなさまへ、本会の活動内容を中心にお知らせいたします。

第6号では、2010年10月～12月の活動内容、会員からの発信、リレーエッセイ、部会報告、今後の活動予定をお届けします。

CONTENT		
<b>活動内容</b>		1 ページ
2010/10/16	第4回日韓女性技術士交流会	1 ページ
2010/10/23	国立天文台見学会	2 ページ
2010/11/13	おもしろいまちづくりシンポジウム第3弾	3 ページ
2010/11/20~21	サイエンスアゴラ 2010	4 ページ
2010/12/11	第8回技術サロン	5 ページ
<b>会員からの発信</b>		5 ページ
加藤祐子さん	からのお便り	5 ページ
<b>リレーエッセイ</b>		6 ページ
酒井一江さん	虎の猫かぶり	6 ページ
<b>部会報告</b>		7 ページ
2010/12/13	第4回企画部会報告	7 ページ
<b>今後の活動予定</b>		7 ページ
2011/07/19~22	ICWES15 (第15回国際女性技術者・科学者会議)	7 ページ
2011/05/21	第4回通常総会	8 ページ

### 活動内容 (2010/10 ~ 2010/12)

- 第4回日韓女性技術士交流会
- ◆ 日 時：2010年10月16日(土) 15:00～20:00
- ◆ 場 所：山口県下関市 海峡メッセ下関 901 会議室・29階展望レストラン
- ◆ 主 催：特定非営利活動法人女性技術士の会
- ◆ 参加者：日本側 廣瀬、岩熊、石田、氷上、中西、山本、千木良、香川、杉田、平永、藤井、鈴木(千)、八百屋  
韓国側 女性技術士8名(翌日本会議から参加1名)

- ◆ 経 緯：4年前より日韓技術士会議のイベントとして女性技術士シンポジウムを開催しています。
- ◆ 目 的：日韓両国の女性技術士の情報交換・スキル向上・親睦を目的としています。
- ◆ 概 要：
  - ・李孝淑さん、岩熊、両国代表者の挨拶のあと両国活動報告を発表、李さんによる代表者挨拶は日本語で行われ、友好ムードを盛り上げました。
  - ・大会テーマ「グリーンテクノロジーと技術士の関わり」に沿ったテーマのプレゼンテーション
    - \* 日本側 「環境共生建築」千木良美由紀
    - \* 韓国側 「自然と人間の共存性 洛東江利用と開発において」李芝衡さん
 両者の発表は、それぞれ業務に直結した専門的な高いレベルの内容で、参加メンバーの関心も高く活発な質疑応答がなされ、実りの多いものでした。
  - ・休憩時間を利用して折り紙交流やプレゼント交換などを行い、シンポジウム終了後は会場を展望レストランに移し夜景を楽しみながら懇親を深めました。



#### ■ 国立天文台見学会

- ◆ 日 時：2010年10月23日（土） 10:00～16:30
- ◆ 場 所：国立天文台三鷹キャンパス
- ◆ 主 催：特定非営利活動法人女性技術士の会
- ◆ 参加者：酒井、藤井、吉川、岩熊、氷上、石田、  
笹尾、木村（了）、喜多
- ◆ 経 緯：国立天文台三鷹キャンパスの特別公開日に合わせ、見学会を実施しました。
- ◆ 目 的：会員の相互研鑽を図るため実施しました。
- ◆ 概 要：午後1時より国立天文台、総合研究大学院大学の常田教授の「太陽が犯人？」及び同大学院の佐々木教授の「探査機が明らかにする「月」世界：「かぐや」から将来へ」の講演を聴いた後、



自由にキャンパスを見学しました。リーダー会の後、再び自由行動となり、日頃みることができない天体望遠鏡(50センチ公開望遠鏡は整理券がすぐになくなったので、メーカーの設置した望遠鏡)によりはじめて肉眼で見る木星の縞模様にも全員感動しました。



■ おもしろいまちづくりシンポジウム第3弾 暮らしの中のエコ技術

◆ 日 時：2010年11月13日(土) 14:00～16:30

◆ 場 所：コトブキDIセンター 7階

◆ 主 催：特定非営利活動法人女性技術士の会

◆ 参加者：プロジェクト側 酒井、吉川、木村、石田、角田、喜多、藤井、犬走、井本、氷上、宮地

ゲスト 日下部友昭(住友林業緑化株式会社)、加宮利行(株)環境教育ソフト)、藪本浩次(株式会社コトブキ)、北浦恵美(埼玉西部・土と水と空気を守る会)、足立有希(前田建設工業株式会社)

一般参加者 10名

- ◆ 経 緯：一昨年からはじまり第3弾となりました。COP10も開催される環境年のため、エコ技術とまちづくりをテーマとしました。
- ◆ 目 的：快適で、持続的なまちづくりを行うには、まちの外から暮らしの中まで、様々な規模の環境問題に取り組むことが必要ですが、環境問題は多岐にわたる分野で取り組まれているために、見落としていることも多いのではないのでしょうか？そこで、まちづくりを構成する様々な要素の中から、私たちの暮らしにとっても身近である、情報、産業、技術、教育、市民活動の5つを選び、各分野で活躍されるスピーカーの報告をもとに、エコ技術について理解を深めることを目的としています。
- ◆ 概 要：シンポジウムは副理事長酒井の挨拶により始まり、まちの中・暮らしの中のエコ技術という今年度のテーマを担当の宮地が説明した後、各分野で活躍されている5名のゲストの話に移りました。ゲストの皆様と演題は以下のとおりです。

1. まちとすまいの緑の活用～都市と自然の共生について考える～：日下部友昭氏
2. 温暖化防止学習の取り組みと今後の方向性：加宮利行氏
3. コトブキのエコへの取り組み REKWOOD(再生木材) - 認証ひのき：藪本浩次氏
4. 所沢周辺産廃問題の取り組み報告：北浦恵美氏
5. CASBEE 入門?：足立有希氏

日下部氏は、「涼暖房」という切り口で住まい及び都市の緑化についての提案、加宮氏は楽しく学べる環境学習に関してご自身の活動紹介、藪本氏は廃木材とプラスチックによるリサイクル材の製品開発や導入事例の紹介、北浦氏はダイオキシン類問題のまっただ中で住民が如何に行政に働きかけたか、そして、足立氏はCASBEEを日本の建設物に取り入れていくための視点、が話の骨子となっていました。





会場からは、「事業としてどのように生物多様性にとりくんでいるか」や「ウッド素材の耐候試験の方法は」等専門的な質問や、「所沢の隣町に住んでいるが、その後の環境は」等身近な質問も寄せられ、今回も密度の濃いものでした。最後に、事務局長石田の謝辞で閉会し、ゲストを交え懇親会となりました。

本シンポジウムは、今回も(株)コトブキ様のご厚意により、素晴らしい会場をお借りして開催することができました。ありがとうございました！



#### サイエンスアゴラ 2010

◆ 日 時：2010年11月20日(土)・21日(日) 両日とも10:00~17:00

◆ 場 所：国際交流大学村(東京・お台場)東京国際交流館

◆ 主 催：独立行政法人科学技術振興協会(JST)

◆ 参加者：プロジェクト側 岩熊、氷上、石田、井本、犬走、喜多、木村了、久保、千木良、松村、綿貫、笹尾

一般参加者 約100名

◆ 経 緯：NPOとして初めて参加しました。

◆ 目 的：「理系は楽しい、面白い」をテーマに、(1)子供たちや女子中高生が科学技術に親しむ機会を作ること、(2)女性技術者の育成や女性の社会進出の支援、(3)科学技術や技術者の育成に関する諸問題の調査研究、(4)バランスの取れたライフスタイルの追求の4項目について、多くの人と一緒に活動を継続することを目的としています。

◆ 概 要：2日間に亘りポスター展示を行いました。ポスターは、「理系の資格」に関するもの3枚、「理系の仕事」に関するもの10枚、「ポートフォリオのチラシ」を展示しました。「理系の仕事」は、会員から仕事に関する写真などを提供してもらい作成したもので、実に様々な仕事がありました。このほか、ニュースレターやポートフォリオ、活動写真帳、技術士関連のチラシなど、11種類の資料を展示し、ポートフォリオと活動写真帳以外は来場者に配布しました。チラシ類は100部用意したものをすべてを配布しました。



## 第 8 回技術サロン

- ◆ 日 時：2010 年 12 月 11 日
- ◆ 場 所：第 2 荳手ビル D 会議室
- ◆ 主 催：社団法人日本技術士会登録グループ  
WPETF
- ◆ 参加者：プロジェクト側 岩熊、笹尾、青木  
一般参加者 女子学生 3 名、社会人 3 名
- ◆ 経 緯：WPETF の主な活動目的の一つである女性技術者のキャリア形成支援事業の一環として、JABEE 課程と技術士制度の説明及び先輩女性技術士との懇談を企画したものです。平成 20 年 11 月に初回を実施し、同企画で第 8 回目となります。



- ◆ 目 的：JABEE 課程履修及び技術者を目指す女子学生が、卒業後の技術者としての自分の姿を思い描き、学校での勉学をもとに、充実したキャリアを積んでいくために、現役の女性技術士と意見交換をする場を提供することを目的としています。
- ◆ 概 要：今回は、岡山から夜行バスで来て下さった方もいらっしゃり、主催者側として、とても励みになりました。サロンの概要は次のとおりです。

### 1. 「『技術士』資格に関する説明」(岩熊)

技術士とは何か、JABEE 課程と技術士制度との関係等に関して、基本的な事項をわかりやすく説明しました。

### 2. フリーディスカッション

アイスブレイク手法等を用いて、主催者・参加者ともに打ち解けたあと、小講演の内容や資料として準備したリーフレット等を題材に、技術者としての今までの経験や、学生として今後キャリアを積んでいく上で疑問に思っていること等について意見交換を行いました。

本サロンの参加者が技術士第一次試験に合格されました。技術士への第一歩を踏み出されたこと、私たちも嬉しい限りです。これからも応援します！

## 会員からの発信

### 加藤祐子さんからのお便り

私は、2 年前に女性技術士の会に入れていただきました加藤と申します。自己紹介のつもりで今回レターに書かせていただきました。

学生の就職について思うことがあります。社会情勢の影響をすぐに受けやすいのが、就職活動をしている学生、なかでも（今でも）女子学生ではないでしょうか。私の学生時代は石油ショック後の影響が大きく、特に女子学生は就職難でした。その時代と比較された、“女子学生氷河期”が少し回復の兆しがみえたかなと言う間もなく、こんどは超氷河期とマスコミは称してほんとうに厳しいです。社会へ躍動をもたらし、未来を切り開いていく若者（特に女子学生）が、なぜ、職につけないのかということ、私たち大人は本気で考えていかないと、社会は明るくなっていかないような気がします。

女性技術士の会では女子学生の就職にむけての取り組みをされておられ、とても共感し

ています。現在、私は生物工学部門の技術士補なのですが、これから機会を得て技術士にチャレンジさせていただきたいと思います。

また少し、大学で行った研究で海洋生物について紹介させていただきます。

近年、海洋生物は何かと注目がなされているように思います。食品や医薬品資源などに海洋生物は貴重ですし、また、アレルギーを発生する生物もいれば、光る生物も生息しています。

私は、以前ある種の海洋生物から赤色の蛍光タンパク質、RFP (Red Fluorescent Protein) を見つけました。色にちなんで茜（あかね）と命名しています。赤色蛍光タンパク質とはある種の光をこのサンゴに当てると、赤色の蛍光を発するタンパク質のことです。

この茜は、長い時間たっても赤色の蛍光を発し続けることが特徴で、共同研究者が茜の全遺伝子も決定しましたので、これから、生物学や遺伝子工学、分子イメージングの世界でなにかに利用できるか、利用方法を考えて、企業の方々へ提供していければいいなと考えています。

今後ともよろしくお願いいたします。

## リレーエッセイ

### ■ 酒井一江さん「虎の猫かぶり」

今回は私の暮らしの一端である着物にまつわるエピソードを思い出してみよう。

生まれ育った家は山口県岩国市。日本 3 名橋である錦帯橋のもとに今もある。蔵の棟札には安政 6 年（1859 年）と記され、古いものでんこ盛りの家で育った。ドアらしきものはトイレの戸くらいで各部屋は障子とふすま、吹きガラスの障子と雪見障子の座敷、台



9 歳 初釜にて

所には 3 つの羽釜がかかるおくどさん、手押しポンプ、風呂は薪で焚く五右衛門風呂。兄弟が悪代官の部屋と呼んでいた応接間は、段通が敷かれ、洋行帰りの祖父が持ち帰った洋

家具、書斎机、籐のカウチ、蓄音機などが置かれたエキゾチックな部屋であった。その後、洗濯機に始まる電化導入、いささかの近代化はされるも、大きな骨格の変化はなく、高校卒業までの日々、脱和を目指して工夫にあけくれた。伊勢丹チェックとユニオンジャックとロダンの彫刻写真が私の部屋を飾る脱和の素材であった。そんな家だったので、毎年、着物はお正月に晴れ着を着せられ、お茶の稽古にも行かされた。しかし、私が左利きであったため、右手で茶筌が扱いづらく、小 3 の初釜の日、密着した雑煮碗の蓋を小さい手で力任せに開けて振り袖に雑煮をぶちまけた。大恥じをかいなお茶のお稽古は低学年で打ち止めとなった。大人になった私の着物は貧乏生活の智恵である。初任給がやたらに安く、パーティーや結婚式の服装に随分苦労した。結局、母が作ってくれた着物が少々の洋服よりゴージャス



知人のお嬢さんの結婚式  
お嬢さんの手を引いて



で、昼夜のドレスコードを心配することもなく着られるので、以降はハレの場では着物を着るようになった。日常の服装を知る方々は、馬子にも衣装と褒めてくださった。今では歌舞伎や狂言等の観劇や音楽会、食事会、海外旅行等ビジネスウエアではヤボな場所は着物を楽しんでいる。とりわけ主人と一緒にパーティーなど、虎歳の私が猫をかぶるに、着物は打って付けの着ぐるみである。少しは家内らしく見えるのではと。

ところで私の色留め袖の絵柄は宗達の風神雷神である。これを着て親戚の結婚式などに出ると親戚一同は、母が私にぴったりの品を選んだと妙に納得し、大笑いするのである。

さてよ。ひょっとしたら、私は猫を被ったつもりでいたが、誰の目にも猫には見えず、主人は太いクサリに虎をつないだ調教師にみえているのかもしれない！

## 部会報告

### 第4回企画部会報告

◆ 日時：2010年12月13日(月) 19:00~22:00

◆ 場所：淡窓庵事務所

◆ 参加者：酒井、青木、宮地、久保、鈴木、犬走、藤井、木村、広瀬、吉川

◆ 概要：

#### 1. 理事会報告

INWES 及び ICWES15、次回リーダー会について

#### 2. 部会活動報告

見学会(詳細は2ページ参照)

・興味深い見学会であった。

おもしろいまちづくりシンポジウム第3弾(詳細は3ページ参照)

・場所、人選は良かった。次回は発表時間等運営面をさらに工夫する。

アンケート調査の状況

・2003年度と比較し、変わったところ、変わらなかったところの洗い出しを行い、問題と課題を抽出する

#### 3. その他

ICWES15の準備

次年度の企画部事業の検討

## 今後の活動予定

### ICWES15(第15回国際女性技術者・科学者会議)

今年は3年に1回開催される International Conference for Women Engineers and Scientists “ICWES”の年です!本法人からの申し込み者数は現在11名!申し込みがまだの方、振るってご参加ください。

◆ 日時：2011年7月19日(火)~22日(金)

◆ 場所：オーストラリア アデレード コンベンションセンター

◆ 対象：女性技術者・科学者

◆ 一般参加の申し込み期限：特に期限はありませんが、2011年5月15日(日)までに申し込むと割引価格が適用されます。

◆ 内 容 :

今回のテーマ“ Leadership, Innovation, Sustainability ”のもとに、世界中の女性技術者・科学者が集まり、様々な分野でのディスカッションやポスター展示、楽しい交流イベントが行なわれます。

本法人では、ポスター展示および「働く女性技術者の現状」についてのパネルディスカッションを企画しております。

- 1) パネル展示 : 会員の顔写真をパネルにし、活動内容やポートフォリオを紹介する。
- 2) パネルディスカッション : 「各国の働く女性技術者の現状」をテーマとし、外国の方も交えて労働環境について討論する

◆ 申し込み方法 : これから申し込みをされる方へ

- ・申し込みは、ICWES15の申し込みページ (<http://www.icwes15.org/register.asp>) からご自身で行なってください。
- ・本法人の会員には“ Member ” 価格が適用されます。“ Member Information ” で “ International Network of Women Engineers & Scientists ” を選択してください。“ Membership Number ” は現在確認中ですので、“ now asking ” としてください。“ Registration Fees ” では、“ Member ” にチェックを付けてください。
- ・本法人の会員はできるだけ同じホテルに宿泊するようにしたいと思っています。特別な事情のない限り、“ Accommodation ” で “ Hotel Grand Chancellor Adelaide on Hindly ” を選択してください。ホテルでの『お楽しみ会』も計画しています。(他のホテルを選択することももちろん可能です。)おひとりで参加される方で本法人の会員とツインルームをシェアしたい方は、お申し込みの前に [soumu-pelady@freeml.com](mailto:soumu-pelady@freeml.com) (担当:石田)へご連絡ください。
- ・ウエルカムパーティや見学会等については自由参加です。これまでの経験ですと Welcome Reception と Conference Dinner は大多数が参加していました。プログラムによっては参加費が別途必要になりますのでご注意ください。
- ・申し込みをされた方は、ICWES15事務局から参加受付の確認メールが届いた時点で石田までご連絡下さい。

📅 第4回通常総会

◆ 日 時 : 2011年5月21日(土)14時から

◆ 場 所 : 大田区産業プラザ Pio

広報部からのお願い - ニュースレター記事の募集 -

「会員からの発信」コーナーへ、みなさまからの記事をお待ちしています。

みなさまからのご意見・ご感想をお待ちしています!

ニュースレターについてご意見・ご感想はこちらまで : [info@pej-lady.org](mailto:info@pej-lady.org)

2011年第1号 通巻第6号 発行責任者: 特定非営利活動法人 女性技術士の会 理事長 岩熊まき